

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 3 区分
 【発行日】平成 17 年 10 月 27 日 (2005.10.27)

【公開番号】特開 2005-18613 (P2005-18613A)
 【公開日】平成 17 年 1 月 20 日 (2005.1.20)
 【年通号数】公開・登録公報 2005-003
 【出願番号】特願 2003-185314 (P2003-185314)
 【国際特許分類第 7 版】

G 0 6 F 3/14

G 0 9 G 5/00

G 0 9 G 5/14

【F I】

G 0 6 F 3/14 3 5 0 A

G 0 9 G 5/00 5 1 0 V

G 0 9 G 5/14 Z

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 7 月 5 日 (2005.7.5)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】情報処理装置およびウィンドウ表示制御方法

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

複数の表示モニタをマルチモニタ環境で表示制御する表示制御機能をもつ情報処理装置に於いて、

前記マルチモニタ環境下で扱う、ウィンドウを開いた状態での表示画面を前記表示モニタ間で移動する際に、

移動前の表示画面上のウィンドウ表示状態を移動先の表示モニタ上で再現可能な情報として取得し保持する手段

を具備したことを特徴とする情報処理装置。

【請求項 2】

前記保持情報には、少なくとも前記移動前の表示画面上のすべてのウィンドウのサイズおよび位置情報と、前記移動前の表示画面を表示している表示モニタの表示解像度と、前記表示画面を表示する移動先の表示モニタの表示解像度とが含まれる請求項 1 記載の情報処理装置。

【請求項 3】

複数の表示モニタをマルチモニタ環境で表示制御する表示制御手段と、

前記表示制御手段の制御下にある表示モニタの間に於いて、ウィンドウを開いた状態での表示画面を移動する際に、少なくとも前記表示画面の移動元および移動先の表示モニタの画面の大きさをドット数を単位として取得する取得手段と、

前記移動の対象となる表示画面上のすべてのウィンドウサイズを前記情報取得手段が取

得した画面の大きさに比例して変更する処理手段とを具備し、

前記移動先の表示モニタが前記処理手段により変更されたすべてのウィンドウを表示することを特徴とする情報処理装置。

【請求項 4】

表示モニタと、

前記表示モニタの解像度を変更する解像度変更手段と、

解像度変更手段が前記表示モニタの解像度を変更したとき前記表示モニタの画面の大きさをドット数を単位として取得する取得手段と、

前記取得手段が取得した画面の大きさに比例して前記表示モニタに表示するすべてのウィンドウのサイズを変更する処理手段と、

前記処理手段が変更したウィンドウのすべてを前記表示モニタに表示するウィンドウ表示手段と

を具備したことを特徴とする情報処理装置。

【請求項 5】

第 1 のウィンドウの中に第 2 のウィンドウを表示するウィンドウ表示手段と、

前記第 1 のウィンドウの中に第 2 のウィンドウが表示されている状態で、前記第 1 のウィンドウがサイズ変更されたとき、当該変更したウィンドウサイズの割合を算出する演算手段と、

前記演算手段が算出した割合で前記第 1 のウィンドウの中に表示されていた前記第 2 のウィンドウのサイズを変更して表示するウィンドウ再表示手段と

を具備したことを特徴とする情報処理装置。

【請求項 6】

複数の表示モニタをマルチモニタ環境で表示している際に、

前記表示モニタ間で、ウィンドウを開いた状態で表示画面を移動する事象が発生したとき、

前記表示画面の移動元および移動先の表示モニタの画面の大きさをドット数を単位として取得し、

前記移動の対象となる表示画面上のすべてのウィンドウサイズを前記取得した画面の大きさに比例して変更して、

変更したすべてのウィンドウを移動先の表示モニタに表示することを特徴とするウィンドウ表示制御方法。

【請求項 7】

表示モニタの解像度が変更されたとき、

前記表示モニタの画面の大きさをドット数を単位に取得して、前記表示モニタに表示するすべてのウィンドウのサイズを前記取得した画面の大きさに比例して変更し、前記表示モニタに表示することを特徴とするウィンドウ表示制御方法。

【請求項 8】

第 1 のウィンドウの中に、第 2 のウィンドウが表示されている状態で、前記第 1 のウィンドウがサイズ変更されたとき、変更されたウィンドウサイズの割合を算出し、前記第 1 のウィンドウの中に表示されていた前記第 2 のウィンドウを前記算出した割合でサイズ変更して表示することを特徴とするウィンドウ表示制御方法。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0001

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、複数の表示ウィンドウを扱うアプリケーションを実行する環境に適用して好適な情報処理装置およびウィンドウ表示制御方法に関する。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

本発明は上記実情に鑑みなされたもので、表示モニタ間に於けるウィンドウの移動、ウィンドウが開かれた状態での画面解像度の変更、ウィンドウの中にウィンドウが表示されている状態での外側ウィンドウの縮小操作等に対して、常に、開かれているウィンドウのすべてを適正なサイズ状態に維持して表示することのできる情報処理装置およびウィンドウ表示制御方法を提供することを目的とする。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

【課題を解決するための手段】

本発明は、複数の表示モニタをマルチモニタ環境で表示制御する表示制御機能をもつ情報処理装置に於いて、前記マルチモニタ環境下で扱う、ウィンドウを開いた状態での表示画面を前記表示モニタ間で移動する際に、移動前の表示画面上のウィンドウ表示状態を移動先の表示モニタ上で再現可能な情報として取得し保持する手段を具備したことを特徴とする。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

また、本発明は、複数の表示モニタをマルチモニタ環境で表示している際に、前記表示モニタ間で、ウィンドウを開いた状態で表示画面を移動する事象が発生したとき、前記表示画面の移動元および移動先の表示モニタの画面の大きさをドット数を単位として取得し、前記移動の対象となる表示画面上のすべてのウィンドウサイズを前記取得した画面の大きさに比例して変更して、変更したすべてのウィンドウを移動先の表示モニタに表示するウィンドウ表示制御方法を特徴とする。

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】削除

【補正の内容】